

床版調査報告 ～既存スラブの厚さ不足について～

1. 抽出調査結果について

第五小学校の既存スラブ厚さ不足をうけて同時期に施工された小中学校 13 校を対象に調査を実施。全校にスラブ厚不足が認められ、いずれも構造計算上の不適合があった。

2. 補強工事費用及び実施設計委託費費用について

全数調査の結果を受け、予想されるすべての不適合スラブ約 460 枚を補強する場合の費用想定は以下の通り。

概算工事費：約 600 万円/1 スラブ(建築・電気・機械)、13 校合計約 27 億 6000 万円

概算委託費：約 3,000 万円/1 校、13 校合計約 3 億 9,000 万円

※委託費は設計費及び工事監理費。

3. 補強工事の考え方について

先に示したように、不適合スラブすべての改修を行った場合、合計で約 31 億 5000 万円の費用が掛かり、完了までかなりの期間を要すると想定される。

補強工事は児童及び生徒のいない夏休みを中心とした工事で、かなりの制約があり、最大でも年間 20 枚程度の補強工事となる。20 枚を超える補強数がある学校については工事期間が複数年となる可能性が高いことから工法、工期を含めた全体の対策について改めて検討する。

小中学校床版厚調査結果一覧

1. 調査結果

	学校名	設計厚 (mm)	A 調査数 (枚)	設計厚 不足数 (枚)	最小値/ 建築年度 (mm)	B 構造計算による 不適合の数 (枚)	C 不適合率 (B/A)
1	第二小学校	110,120,130	160	92	80,107,99 /S41,39	79	49%
2	第三小学校	110	217	102	77 /S41	24	11%
3	第四小学校	100,110	170	61	78,92 /S37,39	21	12%
4	第六小学校	120	112	27	105 /S40	20	18%
5	第七小学校	120	81	52	85 /S40	47	58%
6	第八小学校	110,120,125	236	86	81,101,122 /S41,55,41	13	6%
7	第九小学校	110,120,130	112	51	80,95 /S41,	8	7%
8	第十小学校	110,120,130	179	73	95,80,80 /S37,50,40	41	23%
9	第一中学校	100	227	84	57 /S36	52	23%
10	第二中学校	100	280	91	70 /S37	77	28%
11	第三中学校	100,110	232	86	82,85 /S34,41	47	20%
12	第四中学校	100,110	228	39	75,83 /S38,39	6	3%
13	第五中学校	110,120	245	110	90,90 /S38,S42	26	11%
	計		2479	954		461	19%